

インラインフェスティバル シンクロ・コンテスト(2人組)競技規則

シンクロ・コンテスト規則		内容
競技	第1条	<ol style="list-style-type: none"> 1) 2名の選手で、同調滑走を行う。 2) 同調性と演技による演技点、タイム計測によるタイム点の合計で順位を競う。 3) 1回の滑走とする。
競技内容	第2条	<ol style="list-style-type: none"> 1) スタートからフィニッシュまで定められたすべての通過点を2名の選手の両足がそれぞれ通過しなければならない。 2) 均等な間隔で縦に設置されたパイロン(障害物)を通過点とする。 3) 1通加点、横並び3個(障害物の縦間隔は4m)と横並び1個(障害物の縦間隔は3m)とする。 4) コース中間地点あたりでラインとリズムが変わりコース上部を2名の選手による縦の同調、コース下部を2名の選手による横の同調(横並び)で滑走する。 5) 2名の選手はそれぞれビブを着用しなければならない。(特別なビブはない) 6) 第1通加点の進入方向は、左右どちらからでも良いものとする。
タイム計測	第3条	<ol style="list-style-type: none"> 1) スタートエリアの最前部にタイム計測のスタート用光電管(または、スタートバーを設置し、そこからのスタートとなる場合がある)が設置されており、そこを前走者が通過した時点でタイムの計測を開始する。 2) フィニッシュラインを通過するところにフィニッシュ用光電管が設置されており、そこを前走者が通過した時点でタイム計測を終了する。 3) タイムの仮発表は放送(電光掲示・手書き表示)にて行う。 4)
クラス	第4条	<ol style="list-style-type: none"> 1) オープンペアは、テクニカルコンテストのジュニアクラス、ルーキークラスの選手を1名以上含むペアと女子選手同士のペアとする。 2) エリートペアは、テクニカルコンテストのエリートクラスの選手を含むペア(男女問わず)とする。
開会式及び選手会	第5条	開会式を選手会と兼ねて行い、競技要領及び競技規則の最終決定を行うものとする。
ドローとスタート順	第6条	<ol style="list-style-type: none"> 1) チームのスタート順は実行委員会による抽選で決定する。 2) プログラムのスタートリストに沿ってスタートする。
スタート	第7条	<ol style="list-style-type: none"> 1) チームはスタート係による出発点呼を受けなければならない。出発合図によって、選手はすみやかにスタートしなければならない。不当な遅延または遅刻は当該種目を棄権と見做し、総合得点180点を与える。 2) スタート審判が止むを得ない遅刻と判断した場合、競技委員長に報告し、その遅刻を許してもよい。例えば、個人の用具の故障、もしくは天候の急変等による不可抗力によるものとする。 3) スタートエリアは、4つのコーンで示され、チームはそのスタートエリア内(スタートバーを使用する場合は、所定の位置)からスタートしなければならない。 4) スタートバーを使用してのスタートとなる場合は、前走者が「スタートライン」をどちらかのスケートで踏み、静止の状態から一連の動きでスタートバーを切ってスタ

		<p>ートする。この場合、後走者はスタートバーを通過しない走路でスタートし滑走する。</p> <p>5) スタートエリアオーバーは失格となる。</p> <p>6) スタートエリアには、スタートする選手とスタート関係役員以外立ち入る事ができない。</p> <p>7) オープンペア、エリートペアの順に競技を行う。</p>
フィニッシュ	第8条	<p>1) フィニッシュラインは、2つのコーンにより表示する。</p> <p>2) 2名の選手はフィニッシュラインを通過した後に速やかに安全に停止しなければならない。</p>
得点	第9条	<p>1) 3名の審査員で演技の採点を行う。</p> <p>2) 各審査員は100点満点で得点を表示する。</p> <p>3) 3名の審査員の合計得点が演技点となる。</p> <p>4) スタートからゴールまでのタイムを計測し、得点換算したものをタイム点とする。</p> <p>5) 演技点とタイム点の合計得点をこの種目の得点(シンクロポイント)とする。</p> <p>6) タイム点は、各クラスの中で、ラップタイムを出したチームに、各クラスの最高演技点(3審の中の1得点)を最高タイム点として与え、ラップタイムから遅れること「0.3秒」につき最高タイム点から1点ずつ減点した得点を各チームに与える。0.3秒以内であれば、得点差無しとなる。</p> <p>7) コース途中のパイロン(障害物)に接触し、パイロンが転倒した場合、1パイロンにつきタイム点から2点の減点とする。</p> <p>8) コースを不通過し、演技を途中終了した場合と、パイロン転倒による最大減点は、タイムに関わらず40点とする。タイム点は、59点以下としない。</p> <p>9) 前走者がフィニッシュラインを通過したところでタイム計測を終了するが、後走者がフィニッシュラインを通過するところまで演技の採点対象とする。</p>
順位	第10条	<p>1) シンクロポイントの上位より、順位をつける。</p> <p>2) 同点の場合は、タイムが速いペアが上位となる。</p>
演技の中断及び途中棄権	第11条	<p>1) 演技を中断した場合は、その位置から再演技を行う。但し、態勢回復に著しく時間を要する場合は競技委員長の判断に従う。</p> <p>2) 途中棄権の場合はその意思表示を速やかに行い、コース外に出るものとする。</p>
抗議	第12条	<p>1) 得点・順位・タイム計測に関する抗議は、事務的問題以外一切受け付けない。</p> <p>2) 競技内容又は運営に関する抗議は競技委員長に対して行う。抗議は、競技中又は演技終了後5分以内とする。</p>
競技延期・中止等	第13条	<p>1) 天候等不可抗力による競技延期又は中止等の決定は、競技委員長がこれを行う。</p> <p>2) その他予期せぬ事項に関しては、競技委員長の判断による。</p> <p>3) 天候等不可抗力、その他予期せぬ事項により、競技が中断し順延となった場合は、中断したところから競技を再開する。中止となった場合は、ノーコンテストとなる。</p> <p>4) シンクロコンテストは大会(インラインフェスティバル)不成立に関係ないものとする。</p>
表彰	第14条	<p>クラス別に、6位までの表彰を行う。</p>